

令和4年度 日之影町立宮水小学校 学校評価

○「評価」について、目標の達成度に基づき、次の4段階で評価を行う。  
 4：期待以上、3：期待通り、2：やや期待を下回る、1：改善が必要  
 ○「評価者」…「第一次」：学校による自己評価、「第二次」：保護者評価、「第三次」：学校運営協議会委員評価

評価項目	達成目標と方策		第一次評価者所見	評価		
				第一次	第二次	第三次
学力向上	1	学習の基盤となる学習態度等の指導を日常的に徹底し、基本的な学習習慣の確立を図る。	相手に体を向けて話を聞く、「はい」の返事をする、チャイムの合図で黙想をする等の指導を行った。学年や個人によって意識の差も感じられ、継続した指導が必要である。	3	3	3
	2	ICT(タブレットPC、電子黒板等)の活用を通して、主体的・対話的で深い学びの授業改善に取り組み、思考力・判断力・表現力等の育成を図る。	ICTの活用による授業改善に取り組み、児童が積極的に学習で使う場面が増えた。思考や表現につなげる指導の在り方を今後も研究を通して深めていきたい。	3	3	3
	3	朝の活動の活用や家庭学習の充実をさせ、基礎的・基本的な知識や技能の習得を図る。	朝のモジュール(漢字学習)や家庭と連携した学習の見届けなどにより、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図ることができた。	3	3	3
	4	地域の人的・物的教育資源を有効活用しながら読書活動を推進し、思考力や読解力の向上を図る。	図書活動推進員の活用や地域ボランティアによる読み聞かせ活動、家庭と連携した読書推進等により、児童の読書活動が充実し、読書冊数も増加した。	3	3	3
生徒指導	1	児童会活動や学校行事を通して主体的に活動できる力を育成する。	2学期に全校での児童集会を初めて設定し、学校をよりよくするための話し合いを通して、意識を高めることができた。ボランティア活動等への主体的な取り組みにはまだ課題が残る。	3	3	3
	2	基本的な生活習慣(あいさつや会釈・無言掃除・廊下歩行・靴の整頓)の確立に向けて、日常指導の充実を図る。	あいさつについては、生活指導週間や常時指導、児童会を中心としたあいさつ運動の実施により、意識の高まりは見られるものの個人差があり、今後も継続的な指導が必要である。	3	3	3
	3	学級経営や教育相談の充実を通して、望ましい人間関係の醸成を図る。(いじめ・不登校への対応)	楽しい学校を目指し、授業を中心とした学校生活の充実を図ることができた。また、悩みアンケート・教育相談の実施により、児童の悩みを早期に発見し、対処することができた。	3	3	3
	4	いのちを大切にせる教育の充実を図り、豊かな心を育む。	学校参観日に「いのちの教育」を実施することで、学校と家庭で「いのち」について考える機会となった。今後も命の大切さについて指導を継続していく。	3	3	3
体力向上・安全指導	1	日常的に立腰指導の徹底を図り、正しい姿勢の習慣化を図る。	学習場面では立腰ができるようになってきているが、日常の場面や家庭では立腰の意識がまだ十分ではない。家庭との連携を含め、意識を高める指導を繰り返す必要がある。	3	3	3
	2	体力向上プランを基に、意図的・計画的な体育タイムの充実を通して、体力の向上を図る。	体力テストの結果をもとに体力向上プランの見直しを行い、体育的行事と関連して持久走やなわとび運動に取り組んだ。体力の低下が見られる項目に今後も力を入れていきたい。	3	3	3
	3	養護教諭と連携した日常指導等を行い、健康的な生活習慣を育成する。	養護教諭が計画的に授業を行い、児童の健康についての意識を高めることができた。また、学校保健委員会を活用し、保護者と連携した生活指導を行うことができた。	3	3	3
	4	栄養教諭と連携した日常指導等を行い、望ましい食習慣を育成する。	授業や給食指導等に栄養教諭が積極的に関わり、児童の食についての意識を高めることができた。地域の食材を生かした献立を計画し、保護者へ食育の啓発を図っていった。	3	4	4
家庭・地域との連携	1	めざす児童像や各月の重点指導目標を家庭と共有し、連携した取組で目標達成を目指す。	校長通信、学校HP等で児童像や重点目標を保護者に知らせたことで、重点努力事項について家庭と連携して取り組むことができた。	3	3	3
	2	家庭の教育力を向上させるための全校懇談会の充実を図る。	今年も全校懇談は実施できなかった。「メディアと家庭での対応」については、アウトメディア週間、学校保健委員会、町PTA連絡協議会等の取組と連携することができた。	—	—	—
	3	地域の人的・物的教育資源を活用した学習の充実を図る。(地域学校協働活動推進員との連携)	地域学校協働活動推進員と連携し、学校の教育活動に地域資源を活用することができた。特に4年生の大人用水路や大人歌舞伎についての学習計画を新たに整備することができた。	3	3	3
	4	学校ホームページや学校通信等により、積極的に情報発信を行う。	週に一回程度の校長通信、毎日のホームページの更新により、積極的に学校の様子を家庭に伝えることができた。保護者の学校の教育活動への関心・理解も高い。	4	3	3